

平成30年度 事業報告

1. 事業実施の方針

エールは障がい児・者や高齢者及びその家族並びに保健・医療・福祉サービスに関わる経営者や職員に対して、権利擁護ならびに福祉コンプライアンスの啓発に関する事業を行い、保健・医療・福祉の増進に寄与する目的で以下事業を行います。

2. 事業実施に関する事項(1)特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施日/内容	実施場所
A.] エール 本体事業	1)総会 (1回) 2)理事会(4回) 3)ケース会議(5回) 4)事務局会議(24回)	1)総会:5月28日(火) 2)理事会:7/25・10/22・2/4・5/8 3)ケース会議:9/3・11/22・12/17・2/26・3/25 4)事務局会議:2回/月	1)仙台市戦災復興記念館 4階 第4会議室 2)エール会議室 3)エール会議室 4)エール会議室
A-1 権利擁護 相談支援事業	1)相談窓口の設置 2)委託事業 ①(宮城県)高齢者虐待対策機能強化業務 ②(仙台市)高齢者権利擁護支援事業 ③(石巻市)高齢者権利擁護事業委託業務 ④(大崎市)高齢者権利擁護事業業務 ⑤(仙台市)障害者虐待相談機能強化事業 ⑥(富谷市)権利擁護事業委託(高齢者・障害者) ⑦(岩沼市)障害者虐待相談・権利擁護支援事業業務委託	【相談窓口】通年(土,日,祝日を除く) 月曜～金曜 ①～⑥【10:00～15:00】 ⑦【9:00～17:00】 【相談件数】合計96件(新規相談) 4月-5件/5月-4件/6月-3件/7月-5件/8月-7件/9月-7件/10月-11件 11月-11件/12月-13件/1月-12件/2月-11件/3月-7件 【対象者区分】高齢者60.4%/身体障がい者5.2%/知的障がい者7.3% 精神障がい者/22.9% その他4.2% 【相談の特徴】・関係機関からの虐待対応についての相談。 ・問題整理を含めたケース会議への出席依頼。 ・家族(高齢障がい)の相談。 ・アドバイザー派遣21回(⑦)	
A-2 権利擁護 研修事業	1)エール主催の研修会「エール研修会」(2回/年)含仙台市委託事業 1-1 蔵王研修会『その人の権利と権利擁護』～人の権利から支援のあり方を考える～ 基調講演/講義・演習/灯火研修/事例から学ぶ等 1-2 高齢者・障がい者権利擁護セミナー『その人の権利と権利擁護』 ～人の権利から支援のあり方を考える～ 講義/講義・演習 2)委託事業 a.宮城県)高齢者権利擁護推進研修業務(3回/年) 「権利擁護・身体拘束廃止・虐待防止研修会」①初任者対象②管理職対象③主任看護師対象 b.行政等主催研修会への講師派遣 ①仙台市②石巻市③富谷市④大崎市	1)1-1蔵王研修会 9/8～9[62名参加] 1-2セミナー 3/15[187名参加] 2)a.①10/3管理職等124名 ②11/27初任者等130名 ③12/18看護主任等90名 b.①仙台市(高齢)(6/26・8/17・8/28・11/7・12/17・1/22・2/26) ②仙台市(障がい)(11/22・2/22・2/26・3/4) ③石巻市(7/23) ④富谷市(8/9・1/22・2/22) ⑤大崎市(3/20)	1)1-1 蔵王ロイヤルホテル 1-2 東京エレクトロンホール宮城 2)a.①②③ 仙台弁護士会館4F b.①②③④⑤ 各市町村
A-3 コンプライアンス 策定事業	法人を対象とし、障がい児・者とその家族・職員の権利擁護を目的とするコンプライアンスルールの策定を目指した。	対象法人なし。	
A-4 コンサルタント事 業	コンサルタント契約締結法人に対し、法人訪問・研修・コンプライアンスルール策定の奨励など、具体的啓発事業を目指した。	対象法人なし。	
A-5 人権啓発事業	1)HP 2)「ニュースレター」(4回/年)等の媒体による、人権啓発事業ならびに、「エール」の活動への理解高揚を目指した。 3)他団体とのネットワーク活動(権利擁護のための消費者ネット・Asnet-J 全国権利擁護支援ネット・反貧困等)を実施した。	1)通年 2)ニュースレター/年4回発行(7月,10月,1月,4月) 3)主にネットを活用し、情報共有を行った。	県下ほか広域
A-6 権利擁護相談員 養成事業	目 的:県下権利擁護を担っていただけの方。エールに関わる人を増やす。 登録者数:25名(社会福祉士,保健師,看護師,介護支援専門員等)	1)権利擁護相談員養成研修 2回 (5/12・5/13) 2)事例検討会 10回 第1木曜日/月(6月～開始) (6/7・7/5・8/2・9/6・10/4・11/1・12/6・1/10・2/7・3/7)	1)仙台弁護士会館 4F 2)エール会議室
B.] 介護サービス 情報公表 事業	1)県内の介護サービス情報の収集,その情報の公表を行った。 2)介護情報公表事業の調査員の養成を目的とした研修を実施した。 3)介護情報公表事業の理解のため県民及び関係機関を対象にイベントでブース出展をした。 4)介護情報公表事業の啓発のため「公表センター」の広告を載せた。 5)介護情報公表事業の啓発のための啓発物(ウエットティッシュ,チラシ,ポスター)を製作し,配布した。	1)宮城県(仙台市を除く)対象事業所数1,920件,仙台市対象事業所数1,287件 2)調査員養成研修 6回開催 14名養成 3)仙台市高齢者いきがい健康祭(9/16) 4)「介護の手引き」2019年度版。バナー広告。 5)県内の催事へ参加し,啓発物を配布した。(4ヶ所)	県下

平成30年度会計報告
比較収支計算書

平成31年3月31日現在 単位:円

科 目	当期累計実績(A)	当期累計予算(B)	(A)-(B) 増減額	A/B 予算比
	金額	金額		
【会費収入】	812,000	700,000	112,000	116.0
正会員会費収入	812,000	700,000	112,000	116.0
【事業収入】	0	100,000	-100,000	
コンサルタント事業収入	0	100,000	-100,000	
【補助金・受託金収入】	27,260,738	28,300,000	-1,039,262	96.3
地方公共団体補助金収入	1,079,196	1,300,000	-220,804	83.0
受託収入	26,181,542	27,000,000	-818,458	97.0
【寄付金収入】	0	50,000	-50,000	
寄付金収入	0	50,000	-50,000	
【雑収入】	3,550,811	3,440,500	110,311	103.2
受取利息	221	500	-279	44.2
雑収入	3,550,590	3,440,000	110,590	103.2
〔経常収入合計〕	31,623,549	32,590,500	-966,951	97.0
【事業費】	25,106,642	29,310,000	-4,203,358	85.7
給料手当	8,783,756	10,000,000	-1,216,244	87.8
福利厚生費	447,978	500,000	-52,022	89.6
法定福利費	1,411,643	1,500,000	-88,357	94.1
旅費交通費	1,539,034	1,500,000	39,034	102.6
通信費	1,428,341	1,500,000	-71,659	95.2
消耗品費	0	390,000	-390,000	
印刷製本費	1,352,252	1,400,000	-47,748	96.6
地代家賃	1,687,960	2,200,000	-512,040	76.7
光熱水料費	161,076	350,000	-188,924	46.0
賃借料	301,050	300,000	1,050	100.4
保険料	21,290	30,000	-8,710	71.0
謝金	2,894,387	2,665,000	229,387	108.6
租税公課	3,300	10,000	-6,700	33.0
移転費	787,226	2,585,000	-1,797,774	30.5
委託費	2,340,079	2,600,000	-259,921	82.2
図書費	5,292	80,000	-74,708	6.6
広告費	1,169,192	600,000	569,192	194.9
事務費	663,550	1,000,000	-336,450	66.4
支払手数料	109,236	100,000	9,236	311.0
【管理費】	2,115,200	3,085,000	-969,800	68.6
租税公課	2,095,200	3,000,000	-904,800	69.8
諸会費	20,000	35,000	-15,000	57.1
慶弔費	0	50,000	-50,000	
〔経常支出合計〕	27,221,842	32,395,000	-5,173,158	84.0
(経常収支差額)	4,401,707	195,500	4,206,207	2251.5
【固定資産取得支出】	211,680		211,680	
什器備品購入支出	211,680		211,680	
【敷金・保証金支出】	600,000		600,000	
敷金支出	600,000		600,000	
予備費	0	195,500	-195,500	
〔その他資金支出合計〕	811,680	195,500	616,180	415.2
〔当期収支差額〕	3,590,027		3,590,027	
前期繰越収支差額	11,132,016		11,132,016	
〔次期繰越収支差額〕	14,722,043		14,722,043	
【資産増加額】	4,401,707		4,401,707	
当期収支差額	3,590,027		3,590,027	
什器備品購入額	211,680		211,680	
敷金増加額	600,000		600,000	
〔増加額合計〕	4,401,707		4,401,707	
【資産減少額】	211,680		211,680	
什器備品減価償却額	211,680		211,680	
〔減少額合計〕	211,680		211,680	
〔当期正味財産増加額〕	4,190,027		4,190,027	
前期繰越正味財産額	31,935,743		31,935,743	
〔当期正味財産合計〕	36,125,770		36,125,770	